

アマチュア REBELS ルール

【アダルトクラス（高校生以上）】

<クラス A: プロ戦績 3 戦以内>

時間: 2 分 2 ラウンド (延長なし)

防具: 12onz グローブ・フェイス型ヘッドギア・布製レッグガード・布製ニーパット・マウスピース・ファウルカップ (男性)・ア
ブスメントガード (女性)

首相撲: 3 秒以内の首相撲有効、顔面ヒザ蹴り禁止、膠着即ブレイク

蹴り足のつかみ: キャッチから 1 歩以内の攻撃有効

<クラス B>

時間: 90 秒 2 ラウンド (延長戦なし)

防具: 16onz グローブ・フェイス型ヘッドギア・布製レッグガード・布製ニーパット・マウスピース・ファウルカップ (男性)・ア
ブスメントガード (女性)

首相撲: 3 秒以内の首相撲有効、顔面ヒザ蹴り禁止、膠着即ブレイク

蹴り足のつかみ: キャッチから 1 歩以内の攻撃有効

<クラス C>

時間: 90 秒 2 ラウンド (延長戦なし)

防具: 16onz グローブ・フルフェイス型ヘッドギア・ボディプロテクター・ビニール製レッグガード・布製ニーパット・マウスピ
ース・ファウルカップ (男性)・アブスメントガード (女性)

首相撲: 3 秒以内の首相撲有効、顔面ヒザ蹴り禁止、膠着即ブレイク

蹴り足のつかみ: キャッチから 1 歩以内の攻撃有効

<階級>

45kg 以下・50kg 以下・55kg 以下・60kg 以下・65kg 以下・70kg 以下・75kg 以下・75kg 以上 (男女別)

【ジュニアクラス（中学生以下）】

<クラス A>

時間: 2 分 2 ラウンド (延長なし)

防具: 12onz グローブ、フェイス型ヘッドギア・布製レッグガード・布製ニーパット・マウスピース・ファウルカップ (男性)・ア
ブスメントガード (女性)

首相撲: 3 秒以内の首相撲有効、顔面ヒザ蹴り禁止、膠着即ブレイク

蹴り足のつかみ: キャッチから 1 歩以内の攻撃有効

<クラス B>

時間: 90 秒 2 ラウンド (延長戦なし)

防具: 12onz グローブ・フェイス型ヘッドギア・布製レッグガード・布製ニーパット・マウスピース・ファウルカップ (男性)・ア
ブスメントガード (女性)

首相撲: 3 秒以内の首相撲有効、顔面ヒザ蹴り禁止、膠着即ブレイク

蹴り足のつかみ: キャッチから 1 歩以内の攻撃有効

<クラス C>

時間: 90 秒 2 ラウンド (延長戦なし)

防具: 12onz グローブ・フルフェイス型ヘッドギア・ボディプロテクター・布製レッグガード・布製ニーパット・マウスピース・
ファウルカップ (男性)・アブスメントガード (女性)

首相撲: 3 秒以内の首相撲有効、顔面ヒザ蹴り禁止、膠着即ブレイク

蹴り足のつかみ: キャッチから 1 歩以内の攻撃有効

<階級>

25kg 以下・30kg 以下・35kg 以下・40kg 以下・45kg 以下・50kg 以下 (男女同)

【全クラス共通ルール】

反則技: 頭突きや肘打ちなど拳と足とヒザ (顔面以外) 以外の打撃、目つぶし、下腹部急所への攻撃、投げ、タックル、攻撃を伴
わない組みつき (ホールディング)、関節技、絞め技、倒れた相手への攻撃、レフェリーの制止後の攻撃、故意に後ろを向くこと、
顔面ヒザ蹴り、バックブロー、バックスピニングキックは、すべて禁止。レフェリーの注意、警告の後減点 1、減点 2 回目は、反則負
けとなる。反則内容によっては、即時減点、反則負けとなる場合もある。

勝敗：1ラウンド1選手持点10点の減点制。有効打の的確度、相手へのダメージ、積極性を有効ポイントとし、判定、KO（1ラウンド2度のダウンで終了）、TKO（レフェリーストップ）で勝敗を決める。ダウンは、2ポイント。攻勢点は、1ポイント。

防具：布製レッグガード、布製ニーパット、マウスピース、ファウルカップ（男性）、アブスメントガード（女性）は、衛生管理上貸出しません。各自でご用意ください。

服装：上着は必ずキックパンツの中に入れること。金具、ポケットのついた試合着は禁止。長そでのTシャツ、長そでのラッシュガードの着用は禁止。Tシャツか半そでのラッシュガードを着用すること。攻撃が相手の上着に引っ掛かることが多いので、半そでのラッシュガードを推奨します。所属ジムやチームの名称が明記されたものをできるだけ着用してください。

セコンド：3名までセコンドスペースへ立ち入ることが可能。インターバル中リング内に入ることができるのは、1名まで。

注意：足裏の滑り止め（スプレー、松脂粉末など）の塗布禁止。自分の試合前に速やかに防具を装着し待機すること。計量オーバーの場合、1時間以内の再計量で不合格なら失格となり出場費没収。審判への暴言、判定やレフェリングへの抗議は、一切禁止。その他、スポーツマンシップに反する行為は、失格、退場になる場合あり。

保険：出場選手全員、スポーツ安全保険に加入していることを義務付けます。

心得：試合を通じて心身の交流と成長を図り、選手、セコンド、関係者一同、スポーツマンシップに則り正々堂々と闘うこと。

